

こもろの“未来”を創る
拠点をめざして

『市民活動の拠点について学ぶ講座』

～ぼらせんこもろの運営について一緒に考えてみませんか～

市民の皆さんの活動を支え、つなぎ、力を合わせる場を創る、市民活動の拠点「ぼらせんこもろ（小諸市市民活動・ボランティアサポートセンター）」の運営について学ぶ講座（全13回）を開催しています。開催内容は、市ホームページをご覧ください。

途中からの参加も可能ですので、ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

▼問い合わせ先 企画課 市民協働推進係
ぼらせんこもろ ☎26-0315

■第2回講座の内容

6月26日、市役所にて“拠点の機能「情報の収集・提供・発信」について学ぼう”をテーマに開催しました。

当日は、18名の方に参加していただき、長野県NPOセンターのコーディネーターである寺澤順子氏や同センターの事務局長である山室秀俊氏による市民活動の拠点に必要な「情報機能」について講話いただきました。その後、参加された皆さんで「情報機能」について意見交換会を行いました。

講話では具体的に、市民活動団体に必要な「情報機能」の一つとして「広報」が挙げられ、内容としては「市民活動団体の広報とは、共感してもらうために対話すること」や「広報活動することで、その活動を理解する人や一緒に活動する人が増え、活動資金も増え、市民活動団体がめざす課題の解決のための社会整備ができる」など広報の重要性について学びました。

意見交換会では、「広報として行っていること」、「広報で困っていること」をテーマに行い、参加された皆さんで様々な広報の仕方について情報共有しました。

最後に講師から「目標を持って広報に取り組み、広報の方法については市民活動団体にとって必要な方法を選択していくことが大事である」と教えていただきました。



- ・第3回講座の拠点の機能「相談・コーディネート」について学ぼうは、7月27日に開催しました。内容は次号の広報こもろでお知らせします。
- ・第4回講座：拠点の機能「交流の機会・ネットワーク形成」について学ぼう 9月中に開催予定です。市民活動団体の活動発表、参加者と団体の皆さんの交流、ネットワークづくりをします。皆さんのご参加をお待ちしています。

参加と協働のまちづくりをめざして

～自治基本条例の実践～

「区と行政の関係」

社会環境の変化に伴い、区の役割はますます重要になってきています。しかし、同時に様々な問題を抱えていることも事実で、今後も区と行政の対等な立場での協力と支援が重要になっていきます。

このような区と行政の役割や関係性を明確にしていくために、今年度、区長会と市が合同で「区と行政の関係に関する検討委員会」を設置し、年間通じて協議を進めていく予定です。

区と行政が、対等なパートナーとしての信頼関係をさらに深め、市民の住みよい地域を築いていくための第1歩を踏み出していきます。

▼問い合わせ先 企画課 市民協働推進係

